

# 第一回就職レポート

精密機器メーカー

2013年9月16日 富田 詩織

## 1. 会社の事業説明

カメラやビデオカメラ、プリンター、複合機、また医療機器を製造・販売しています。それぞれの製品ごとに開発・研究を担う部門や、企画・生産や販売の調整を行う部門があり、国内外に向けて製品を送り出しています。

## 2. 研修・配属先の仕事

4～6月中旬	生産実習
6月中旬	マナー・経理研修
6月下旬～8月中旬	営業実習
8月下旬～	本配属

### ●生産実習

全国各地にある工場に新入社員が振り分けられ、工場の仕事を学んできました。生産ラインに立って製品を組み立てるという作業を行っていた同期もいれば、使用後回収されたカートリッジの分類をしていた同期もおり、様々な業務を行っていたようです。私はインクジェットプリンターのカートリッジを取り扱う部署で研修を行い、品質保証業務に携わりました。カートリッジを梱包する箱の印刷に問題がないかを一つ一つ調べたり、部品の寸法が間違っていないか測定器でマイクロメートル単位の計測を行ったり、非常

に細かい作業ばかりでした。初めは「こんなことまで調べなければいけないのか」と思うこともありましたが、品質を維持するためには、そのような地道な努力が必要であるということを実感しました。

## ●営業実習

横浜の営業所に配属され、1か月半、複合機の飛びこみ営業をしてきました。初めの一週間は営業所の社員の方と同行し、二週目からは同期と二人ペアで回りました。2～30人規模の会社の担当だったので、ビルやマンションに入っている会社のドアをひたすらノックし、話を聞いてもらうということになるのですが、門前払いが多く、名刺をいただくことすら難しいというのが現実でした。真夏の時期であったので、炎天下の中、一日中歩くというのは非常に辛く、体調を崩すこともありました。一台も複合機を売ることはできませんでしたが、600件以上の会社を回り、お客様との関係を構築するなど、次につながられるような成果は残せたかと思います。私の会社自体は営業部門を持たないのですが、営業の大変さというものを痛感し、お客様の声を直接聞いたことは大いに意義があったと感じております。

## ●本配属

私が所属する部署はLBPプリンターを中長期的にどのように生産していくか、予算を立てたり、生産拠点を考えたりする業務を行っています。それと共に“秘書”を命じられ、秘書業務も行っています。秘書をすることになるとは想像もしていなかったのですが、スケジュール調整や電話対応、来訪者対応などを行っています。

8月下旬に配属されたばかりなので、部署の業務も秘書業務も、まだまだわからないことばかりです。今後その二つの仕事をどのように両立していくかも見えていない状態ですが、どちらの仕事も興味深く取り組んでいます。

配属先の仕事に関しては、また次回詳しくお話できたらと思います。

### 3. 社会人になっての感想

「社会人になると自分のために使える時間がない」と言いますが、私の場合は学生時代よりも大いに遊んでいるというのが率直な感想です。研修の間は、疲れてしまっただけ帰ってきて何もできないことが多かったですが、土日は毎週出かけていましたし、現在は16時過ぎには終業なので、これから趣味を充実させたいと考えています。終業時間もそうですが、休暇も多く、有給休暇も取りやすく、「働きやすい会社である」と非常に感じます。

働き始めて思うのは、「この会社で自分は何をしたいのか」ということを常に考えていたいということです。就職活動の時は「こういうことをしたい」という目標が漠然とながらもありましたが、目の前の業務をこなすことに夢中になると、そういったことを忘れていってしまう気がします。常にあるべき姿を考え、成長できる人でありたいと思っています。

### 4. ゼミ生に一言

もちろん経理、語学、PCスキルの習得などで「学生の時にやっておけばよかった」ということは多々ありますが、それらは社会人になっても得られるものだと思います。それよりも様々な人と出会い、つながりを大切にしてほしいと思います。4月から働き始め、新しく知り合った方はたくさんいますが、どうしても会社の人になりがちです。会社にいると当たり前に見えることも、違う業種の方と話すと全く違う世界があり、驚かされることも度々です。学生だから出会える人、外大生だから出会える人もいるので、ぜひその出会いを大切にしてください。

外大での勉強、宇野ゼミでの研究、どちらも毎日時間に追われ、大変なことと思います。でも、だからこそ得られるものがあり、それは社会人になってからもみなさんの武器になると確信しています。宇野先生に負けず、頑張ってください！今後のみなさんのご活躍を期待しています。

以上